横浜天声キリスト教会　週報　第18巻49号（No.721）　2023年12月3日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　イザヤ7:14 ・・・・・・　御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 105番　ひさしくまちにし
*交読文 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 55番
*使徒信条 ・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110番　きよき調べ
礼拝のための祈り ・・・・・・・ 成田エクレシア：浪川執事　天声：小林伝道師
聖餐式 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 281番　しみもとがも
メッセージ ・・・・・・・・・・・・・・ ひとりのみどりごイエス・キリストを抱くなら（イザヤ9:6）
御言葉を適用する祈り ・・ 会衆一同
賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 104番　久しく待ちにし
幸せと成功の宣言文 ・・・・ 会衆一同
献金感謝の祈り ・・・・・・・・ パスター
報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 次週主日の成田礼拝は15時より行います。
*主の祈り ・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

「見よ、おとめがみごもって男の子を産むであろう。その名はインマヌエルと呼ばれるであろう」。これは、「神は____と共にいます」という意味である。（マタイ1:23）
しかし、苦しみにあった____に、やみがなくなる。さきには____の地にはずかしめを与えられたが、後には光栄を与えられる・・・。暗やみの中に歩んでいた____は大いなる光を見た。暗黒の地に住んでいた____の上に光が照った。あなたが国民を増し、その喜びを大きくされたので、____は刈入れ時に喜ぶように、獲物を分かつ時に楽しむように、あなたの前に喜んだ。これはあなたが____の負っているくびきと、その肩のつえと、しえたげる者のむちとを、ミデアンの日になされたように折られたからだ。すべて戦場で、歩兵のはいたくつと、血にまみれた衣とは、火の燃えくさとなって焼かれる。ひとりのみどりごが____のために生れた、ひとりの男の子が____に与えられた。まつりごとはその肩にあり、その名は、「霊妙なる議士、大能の神、とこしえの父、平和の君」ととなえられる。そのまつりごとと平和とは、増し加わって限りなく、ダビデの位に座して、その国を治め、今より後、とこしえに公平と正義とをもって／これを立て、これを保たれる。万軍の主の熱心がこれをなされるのである。（イザヤ9:1−7）

12月の御言葉：イザヤ9:6

『ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。』

今月の御言葉は、旧約のメシヤ誕生の預言であり、メシヤ、すなわちイエス・キリストはどのようなお方で、どのような時代、どのような所に現れるのか、メシヤが来られる700年前から、既に正確に預言されていた。

この重要なメシヤ預言が記されているイザヤ9章は、「しかし（Nevertheless）」で始まる。なぜなら8章では、イスラエルが自ら懲りずに犯す罪ゆえに外国から蹂躙され、大きな苦難に見舞われる様が預言されており、罪の自業自得ゆえに破壊・荒廃させられてしまった様に対しての「しかし」で9章は展開されて行く。

神の民イスラエルはなぜ破壊・荒廃の歴史を辿ったのか。その理由は8章に記されているが、これは私達自身の人生の歴史にも当てはまる事である。すなわち、神の民であるはずの彼らは、主の「おしえ(トーラー)」と「あかし(テウーダー)」に聞かないで、代わりに霊媒やさえずり、口寄せに尋ねた故だ(8:12-22)。

※おしえ（トーラー）：決して変わらない神の言葉。
※あかし（テウーダー）：証言（預言的な指示）、証明する行為や声明、確証、確認。

神の民である者が、主のおしえとあかしを捨て、死ぬべき人間の言葉や制度、イデオロギーを優先して従うなら、夜明けはなく、苦難とやみ、苦悩の暗やみ、暗黒、追放が待っている事を、歴史が証明している。

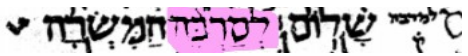
それに対し、「しかし」という言葉で、イザヤ書9章がはじまる。

9:1 しかし、苦しみのあった所に、やみがなくなる。先にはゼブルンの地とナフタリの地は、はずかしめを受けたが、後には海沿いの道、ヨルダン川のかなた、異邦人のガリラヤは光栄を受けた。
9:2 やみの中を歩んでいた民は、大きな光を見た。死の陰の地に住んでいた者たちの上に光が照った。

ゼブルンの地、ナフタリの地は、何世紀も何世紀も、おしえもあかしも無いまま、暗闇の中を過ごしてきた。
「しかし」、後には光栄を受ける。
その鍵は、ひとりのみどりご。その「ひとりのみどりご」とは、イエス・キリスト。
この、私達にも、誰にも手がとどく「ひとりのみどりご」イエス・キリストを抱きつつ歩むなら、
今まで縛られて来た、どんな悪魔サタンの束縛からも解放され、メシヤの統治へと入る事ができる。

『ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。その主権は増し加わり(レマルベー לסרבה)、その平和は限りなく、ダビデの王座に着いて、その王国を治め、さばきと正義によってこれを堅く立て、これをささえる。今より、とこしえまで。万軍の主の熱心がこれを成し遂げる。』(9:6-7)

原典の巻物（左記）を見ると、7節の「増し加わり(レマルベー לסרבה)」という語の2番目の文字



「メム」は、通常ではあり得ない表記で記されている。すなわち、語尾ではない場合のメムは、通常形の、開いたメム（מ）で記されなければならないはずなのに、敢えて、語末形の「閉じたメム(ם)」で代々記され来たのだ。ラビ達の間ではミステリーとされて来たが、以下の考えがある。

1, メムは子宮に関係しており、開いたメムは開かれた胎を、閉じたメムは閉じられた胎と理解されている。
　ヘブライ大学のイェフダ・リーベスは、これにより7章14節の「処女がみごもる」との関係を述べている。
2, 閉じたメムは、無限サイクルを暗示し、私達の主イエス・キリストの平和（シャローム）と、その統治、
　その王国は「今よりとこしえまで」、すなわち、始まりも終わりも無い事を表している。
3, ラビの伝統における救世主の名前の1つは、“ポレツ”(突破者)で、メシヤは突破する性質がある。
　すなわち、閉じた胎を開き、子を産まなかった女を産む女とし、死と墓と陰府とを打ち破り、神殿の幕を引き裂き、天国への道を切り開き、暗闇のサタンのわざを打ち砕き、ユダヤ人と異邦人の壁を打ち砕き、私達の人生に突破口をもたらす。それが、メシヤのご性質である！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	礼拝 11:30
English Service	14:30

日々の集会

月～金　早天祈祷会	5:00～
火・木・金　賛美と祈りの集会	13:00～
火～木　夜の祈祷会	19:00～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:00～

金曜祈祷会　19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 18 巻 49 号　　2023 年 12 月 3 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX： 045-326-6211
Homepage： http://voice.of.christ.yokohama/
email： ephes_03-tensei@yahoo.co.jp